

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立岩西小学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他（例：小中高一貫）
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む
所在地 〒440-0841
愛知県豊橋市西口町西ノ口25番地の4
E-mail iwanishi-e@toyohashi.ed.jp
Website _____
幼児児童生徒数 男子 260 名 女子 243 名 合計 503 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、総合的な学習の時間を「i 学習」と呼び、ESD の視点で実践を行っている。目的としては、①さまざまな活動や体験を通して、自分と地域・人・自然とのかかわりに関心を持ち、自ら考え、判断し、行動する力を育てる。②学び方やものの考え方を身につけ、問題解決に進んで取り組む態度を育て、自己形成に向けての見方・考え方を養うである。

具体的には、「温かい町岩西」「住みやすい町岩西」「美しい町岩西」の3つの領域を柱に、①地域に係わる活動、②福祉に係わる教育、③自分自身に係わる学習、④国際理解に係わる学習を行った。

① 地域に係わる活動（3 年生）

2 年生の生活科では、校区の公園や店を調べてきた。3 年生の i 学習では「岩西よいとこ大作戦！」として、自分たちの住んでいる岩西校区のすてきなところや人、もの、自然について調べ、岩西校区を好きになり、そこに生きる自分たちも大切にしていこうという心を育んできた。

17 件の地域の方へのインタビューを6月9月と2回にわたって行った。インタビューを繰り返すことで、地域の方がどのような気持ちで活動してく

れているのかということまで知ることができた。学んだ内容をさらに他学年や保護者に伝えようとする気持ちが高まり、「岩西よいとこ発表会」という名のもと、2年生の子や保護者、地域の方に、岩西校区のすてきなところや人、もの、自然を紹介することができた。さらに、地域の方の姿から、自分たちにもできることを実践したいという気持ちを持った。そこで、「岩西よいとこ大作戦」を開始。9つのグループに分かれて自分たちができることを行った。公園のゴミを拾っている地域の方の話を聞いた子達は、ごみを拾いたいと思い、公園や道端のゴミ拾いを実践することができた。

② 福祉に関わる活動（4年生）

4年生は、「Step by step」～心を通わせて～ というテーマで隣接する特別支援学校との交流を行った。子どもたちは初め、体の不自由な友だちと仲良くできるのか不安もあった。交流を重ねていく中で、体が不自由でも、表情や動きから相手の気持ちを理解できるようになり、仲良くなれることを実感した。

③ 自分自身に関わる学習（5年生）

『「未来へのつばさ」～大人になるってどういうこと？～』をテーマに、自分自身を見つめ直したり、どんな大人になりたいかを考えたりする活動を行った。大人になると働かなければならないと考えた児童は、地域の方の協力で「仕事体験」を行った。仕事体験を行うことで、仕事の大変さを感じ、大人はどのような思いで働いているか実感することができた。また、仕事体験を通し、自分の将来の夢やどんな大人になりたいか考えるきっかけとなり、普段からどのように行動していけばよいのか考えることができた。

④ 国際理解に関わる活動（6年生）

「マイタウン岩西 ～ぼくたち・わたしたちの宝物～」では、「岩西の宝」を探そうというテーマのもと、これまでの学習での学びをふり返った。岩西には、学校生活を支えてくれる地域の人や子どもたちも学校を良くしようと活動してきた歴史があることを改めて知った。また、外国籍の多く住んでいて外国籍の人に優しく住みやすいまちなのではないかと考えた。

毎日学校の周りを掃除してくれる人や花を植えてくれる人、学習の手伝いをしてくれる人など多くの人たちがどのような思いでしてくれているのか考えることで、自分たちもそんな大人になりたいという思いをもつことができた。

学校の歴史を学ぶことで、岩西校区は開拓によってできたことや子どもたちも自分たちの手で運動場の整備を行ったということを知った。よりよい学校をつくりたいという思いをもつ先輩の存在を知り、自分たちも学校のためにできることは何かないのだろうか考えるきっかけとなった。

外国籍にとって住みよいまちではないかという思いから、岩西に通う外国籍の子たちの気持ちを考えた。ポルトガル語での授業を受けることで、自分たちが想像する以上に苦労してみんなと生活していることを学んだ。他にも困っていることがあることを知り、もっと過ごしやすい岩西になってほしいという思いをもった。

これからの岩西をぼくたち・わたしたちが守っていききたい、創っていききたいと考え、日々の自分の生活を見直したり、よりよい毎日を築こうと行動したり

した。また、災害が起こったときに、自分たちにどんなことができるのかを
考えることができた。



① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)



④ の写真 (キャプション)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ・書籍
- ・ウェブサイト

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・総合的な学習の時間を本校では、i 学習という名称で呼んでいる。3年生は「岩西よいとこ大作戦」、4年生は「Step by step ～心を通わせて～」、5年生は「未来へのつばさ」、6年生は「マイタウン岩西」というテーマで、3年生・4年生は年間50時間、5年生・6年生は年間70時間に取り組んでいる。ユネスコカレンダーを作成し、取り組んでいる。ユネスコカレンダーは毎年、反省をもとに、新しいものに更新している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・ESD部会をおいて取り組んでいる。夏には、愛知教育大学の大鹿聖公教授をお招きし、ESDについて詳しい研修を受けた。学校教育における環境教育ということもESDの視点に立った学習指導の目標を設定することの重要性やすすめるうえで留意事項として①教材のつながり、②人のつながり、③能力・態度のつながりが必要であることを学んだ。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

・本校では、毎年年度末にESDカレンダーの見直しを行っており、ESDの活動をよりよいものにしていくために振り返りを行っている。本年度は、ユネスコスクール豊橋大会で活動の様子をポスターセッションにて発表する機会を得た。児童は発表したことでより、校区のことが好きになり、校区をよくしようと真剣に考えるようになった。このように活動してきたことを発表する場が与えられたことでさらに活動する意欲が高まり、活動を積み重ねることで、よりよい活動になっていくと思われる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

・3年生の活動に置いて、児童から学んだ内容をみんなに伝えたいという意欲が高まり、2年生や保護者、地域の方を招いた「岩西よいとこ発表会」を開催した。2年生や保護者は、地域のすてきなところを知り、地域の方はインタビューされたことが、3年生にどのようにまとめられたかを知り、学校と地域の距離が近くなった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

・3年生、5年生がユネスコスクール豊橋大会で、ポスターセッションで発表を行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

・なし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

・ 3 年生は「岩西よいとこ大作戦」という取り組みを行ったが、年度末にお世話になったかたに向けて取り組んできたことの発表会を行った。チームごとに取り組みを行ったことで、それぞれのチームでの取り組む内容に変化が見られ、より効果があることに取り組む意欲が見られた。また、発表の方法やまとめにも工夫が見られるようになった。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

・ i 学習（総合的な学習の時間）において、3 年生・4 年生は年間 50 時間、5 年生・6 年生は年間 70 時間を確保し、活動に取り組んでいく。内容は今年度と同じものを考えている。